



カケハシ・プロジェクト（米国） 大学院生派遣 FOIP プログラムの記録

1. プログラム概要

【目的】本プログラムでは、日本の大学院生が米国を訪問し、現地総領事館への訪問や、日系人関係施設、現地の学生との交流及び意見交換を通じて、「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」構想や FOIP の理念である「法の支配等の普及」、「経済的繁栄の追求」、「平和と安定の確保」というビジョンを共有するとともに、米国の文化や社会に触れながら、そこから得た学びや気づきを積極的に発信することを主目的としました。

【参加者】横浜国立大学の大学院生 計 9 名

【訪問地】米国 カリフォルニア州ロサンゼルス、サンディエゴ

2. 日程

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

10 月 16 日（火曜日）【渡航前オリエンテーション】事業目的・ミッション、日程説明、
渡航注意、新型コロナウイルス感染症対策等

■ 派遣プログラム：

11 月 11 日（土曜日）成田国際空港より出国、ロサンゼルス国際空港より米国入国

【視察】サンタモニカピア

【オリエンテーション】オリエンテーション

11 月 12 日（日曜日）【視察】全米日系人博物館

【視察】ジャパンハウス

【視察】国際交流基金ロサンゼルス日本文化センター

11 月 13 日（月曜日）【表敬訪問】在ロサンゼルス日本国総領事館 総領事 曾根 健孝氏

【視察】Grand Arts (Ramon C. Cortines School of Visual and Performing Arts)
日本語クラス

【視察】ロサンゼルス市庁舎

11 月 14 日（火曜日）【移動】ロサンゼルスからサンディエゴへ移動

【視察】サンディエゴ日本友好庭園

11 月 15 日（水曜日）【視察】海軍航空博物館（USS Midway Museum）

【学校交流】カリフォルニア州立大学 サンディエゴ校（UCSD）

【授業体験】「日本における組織管理」

講師：カリフォルニア州立大学 サンディエゴ校 ウリケ・シェーデ教授

11 月 16 日（木曜日）【授業体験】「サンディエゴのイノベーションエコシステム」

講師：カリフォルニア州立大学 サンディエゴ校 清泉 貴志 教授

【授業体験】「見返りと制約（北朝鮮）」

講師：カリフォルニア州立大学 サンディエゴ校 ステファン・ハガード教授

【ワークショップ】報告会準備（プログラムの学びや気づきのまとめ、帰国後の活動計画（アクション・プラン）の作成）

【報告会】アクション・プラン発表

【懇親会】カリフォルニア州立大学 サンディエゴ校

11月17日（金曜日）サンディエゴ国際空港より出国

11月18日（土曜日）成田国際空港に入国

3. 記録写真

派遣プログラム



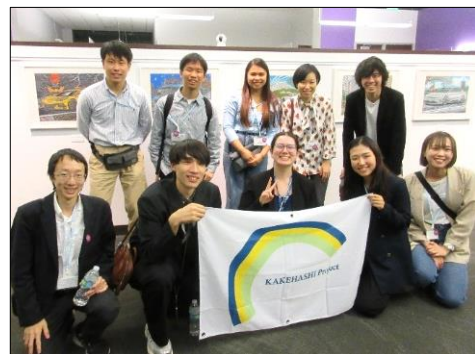
11月11日【視察】サンタモニカピア



11月12日【視察】全米日系人博物館



11月12日【視察】ジャパンハウス



11月12日【視察】国際交流基金ロサンゼルス
日本文化センター



11 月 13 日【表敬訪問】在ロサンゼルス日本国
総領事館 総領事 曾根 健孝氏



11 月 13 日【学校交流】Grand Arts (Ramon C.
Cortines School of Visual and Performing Arts)
日本語クラス



11 月 13 日【視察】ロサンゼルス市庁舎



11 月 14 日【視察】サンディエゴ日本友好庭園



11 月 15 日【視察】海軍航空博物館(USS Midway
Museum)



11 月 15 日【学校交流】カリフォルニア州立大
学 サンディエゴ校

	
11月15日【授業体験】「日本における組織管理」	11月16日【ワークショップ】

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 大学院生

領事館、学校、市庁舎といった公的施設で、日米の関係性及びLA市政での取り組みなどについて意見交換を行いました。公的な施設の中に入ってヒアリングやディスカッションを行うという経験はおそらく今回のプログラムでしかできない非常に貴重な経験になったと思います。現地でしか味わえない空気感や取り組みへの姿勢をここで吸収できたことは今後の人生の大きな糧になると実感する瞬間が多かったです。

◆ 大学院生

交流校が快く迎え入れてくださったので、普段の学生生活について知ることができました。また、高校では日本語を勉強している実情を知ることができました。年代が違う学生と交流することができた点もよかったです。

5. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 視察先教諭

当校の高校生たちと大学院生たちが英語と日本語でお互いに交流している姿を見て嬉しかったです。日本の大学院生たちとJICEのコーディネーターは高校生たちに対して丁寧に接してくれました。学校内外での活動にも非常に柔軟に対応してくれました。

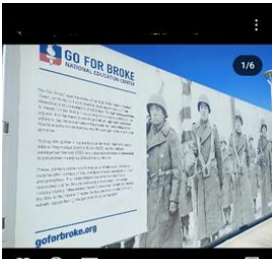
◆ 視察先関係者

学生たちが熱心で、ロサンゼルス国際交流基金に対しまして、多岐にわたる多くのアイデアを出してくれて驚きました。日本語教科書の基準に関しても意見を出してくれました。個人的にも、私が日本でALT（外国語指導助手）として過ごした都市から学生さんもいて嬉しかったです。県外からあまり人気がある場所ではなかったので、その出身であることを知って良かったです。

◆ 視察先関係者

サンディエゴの日本友好庭園及び博物館をご案内できて良かったです。参加者たちは大変礼儀正しく、熱心に学ぶ姿勢が印象的でした。

6. 参加者の対外発信（抜粋）

 diary_cook_ph 先日のアメリカ遠征のことを投稿したいと思います 外務省の派遣事業であるカケハシプロジェクトで行って来ました 院生のみグループで、常に議論が絶えない空間でも楽しかったです この写真はロサンゼルスで撮影したという様子の様子です 観光客から商売をする人、様々な人種の人達がたくさんいて、日本では見ることができない環境でした。	 全米日系人博物館 渡航の中で一番印象に残っているのがロサンゼルスのリトルトーキョーにある全米日系人博物館 (Japanese American National Museum) です。 ここでは、農耕民として戦前に移住した日本人移住者の歴史、太平洋戦争中の日本人移住者と日系人の歴史、そして戦後にかけて日系人が自身の権利のために戦った歴史について知ることができます。 特に日本人移住者と日系人に対する差別をテーマに
2023 年 11 月 11 日 (Instagram) サンタモニカは様々な人種の人たちがたくさんいて日本では見ることができない環境でした。	2023 年 11 月 12 日 (Instagram) 全米日系人博物館にて西海岸における日本人移住者と日系人に対する「差別」を学びました。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表 (抜粋)

What can a community do?

1

Agenda

- Inspiration
- Background
- Term
- Action

Background

U.S.: "Community" is a daily occurrence.
Japan: Few "Communities"

2

Inspiration

What are the differences in **community functions** between Japan and the United States?

3

Terms

Community

A group of people who share a particular identity or value and form spontaneously.

Watts rising

The community of Watts has shared their problems with their residential environment and is working to **improve public health, environmental issues, and walking space.**

4

Action Plan

Where: In Yokohama National University
When: Three Month Later
Who: We at Kakehashi Project
To Whom: Powers in our school system

What / How

- Collection and sharing of awareness of problems within the country
- Determination of priorities based on severity (not on numbers)
- Discussion of possible solutions
- Make their voices heard (those that cannot be reached by individuals)

【米国訪問中の学び】

訪米を通じて、米国では「コミュニティ」の概念が地域社会に浸透していることに気づきました。自分たちの生活環境を改善するため行政にアクションを起こし社会実現をコミュニティ単位で活動していることを学びました。一方、日本では、「コミュニティ」という概念が浸透していません。これは、帰属意識が低いことが一因だと思います。

【アクション・プラン】

Watts^(注)のような米国の成功事例を参考に、横浜国立大学でカケハシ・プロジェクトメンバーが中心になって学生主体のコミュニティを形成したいと思います。学生が大学の一員であることを再認識するため、現在、個人で抱えている学内の問題意識を我々のコミュニティが問題を収集し、解決策を大学に提案します。

- ① 学内での学生が抱える問題を調査・整理
- ② 深刻度合による解決を優先する順位の決定
- ③ 解決策の検討
- ④ 大学側に提案

今回の訪米プログラムで学んだ米国の政治的取組みの手法を、日本でコミュニティとして私たちが学内で実施することにより対米理解の促進を図ります。また、私たちの取組みを米国を中心に海外に発信することで、対日理解の深化を期待しています。

(注) Watts : カリフォルニア州ロスアンジェルス南部にある地域で活動している市民団体

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）